

令和7年 3月28日

関係機関・団体の長 様

新潟県病虫害防除所長

令和7年度新潟県病虫害発生予察情報・予報第1号の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので、送付します。

なお、この情報は、「新潟県病虫害防除所」のホームページでも閲覧できますので、適宜ご活用ください。

また、次回の予報第2号（5月の発生予想）の発表は、5月1日を予定しています。

新潟県病虫害防除所業務課

電 話：0258-35-0867

F A X：0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

令和7年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第1号
(4月の発生予想)

令和7年 3月28日

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度： 発生時期：平年比	予報の根拠
---------------	--------------------------------------	-------

【麦類】

赤かび病	量：並 程度：少発生 時期：並	① 前年の県予察ほにおける発生は平年並(未確認)で、伝染源量は平年並と推定される。(±) ② 3ヶ月予報では、5月の気温はほぼ平年並で、降水量もほぼ平年並と予想されている。(±)
雲形病	量：並 程度：少発生	① 前年の県予察ほにおける発生は平年並で、伝染源量は平年並と推定される。(±) ② 3月下旬の発生量は平年並。(±) ③ 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている。(±～－)

【冬春トマト（施設）】

灰色かび病	量：やや少ない 程度：少発生 (果実発病度1～20)	① 3月下旬の葉および果実での発病は、平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている。(±～－)
【防除上の留意事項】 ① 株の繁茂やハウス内湿度の上昇は発生を助長するので、送風、換気等を行い施設内の湿度低下に努める。 ② 咲き終わった花卉やチップバーン等は速やかに取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。 ③ 予防に重点をおいた薬剤散布を行う。ただし、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同じ作用機構を持つ薬剤の連続使用は避ける。		
アブラムシ類	量：並 程度：少発生 (寄生株率1～10%)	① 3月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)
コナジラミ類	量：並 程度：少発生 (1複葉当たり寄生数0.01～9)	① 3月下旬の発生は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)
アザミウマ類	量：並 程度：少発生 (寄生花率1～10%)	① 3月下旬の発生は平年並(±)、白ぶくれ症果の発生は近年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)

【作物名】 病害虫名	予報内容 発 生 量： 平 年 比 発生程度： 発生時期： 平 年 比	予報の根拠
---------------	--	-------

【冬春いちご（施設）】

灰色かび病	量：並 程度：少発生 （発病果率 1 ～ 5 %）	① 3月下旬の葉および果実での発病は平年並。（±） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている。（±～－）
	【防除上の留意事項】 ① 多湿条件で発病が多くなるため、茎葉が過繁茂の場合は下葉を除去し、風通しを良くするとともに、かん水過多にならないよう注意する。 ② 発病した葉や果実等は速やかに取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。 ③ 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同じ作用機構を持つ薬剤の連続使用は避ける。	
うどんこ病	量：やや少ない 程度：少発生 （発病果率 1 ～ 5 %）	① 3月下旬の葉および果実の発病は、平年比やや少ない。（－） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている。（±～＋）
コナジラミ類	量：並 程度：少発生 （寄生葉率 1 ～ 25 %）	① 3月下旬の発生は平年比やや少ない。（－） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高いと予想されている。（＋）
アザミウマ類	量：並 程度：少発生 （寄生花率 1 ～ 2 %、 被害果率 1 ～ 5 %）	① 3月下旬の花の寄生は平年比やや少なく、果実の被害は平年並。（－～±） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高いと予想されている。（＋）
アブラムシ類	量：並 程度：少発生 （寄生株率 1 ～ 25 %）	① 3月下旬の発生は平年並。（±） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高いと予想されている。（＋）
ハダニ類	量：多 程度：少発生 （寄生株率 1 ～ 40 %）	① 3月下旬の発生は平年比多い。（＋） ② 向こう 1 か月の気温は平年比高いと予想されている。（＋）

～ 防除上の注意事項は、最新の「新潟県農作物病虫害雑草防除指針」を参照してください ～

注１：①「予報内容」の発生量は、予想される発生量が、新潟県における平年の発生量に比べて多
いか少ないかを、少、やや少、並、やや多、多の５段階で表記しています。

②発生程度は、予想される発生量が、国の調査実施基準等で定められている、無発生、少発
生、中発生、多発生、甚発生のいずれに該当するかを表記しています。

注２： 「予報の根拠」の、（＋）は発生量を増加させる要因、（－）は発生量を減少させる要因、
（±）はどちらともいえない要因を示しています。

～ 農薬は適正に使用しましょう ～

- 農薬の準備・使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認しましょう。
- 使用に際しては、ラベルに記載の使用基準や注意事項をよく読み、使用者が責任を持って使
きましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。周辺作物や住宅及びミツバチ等への危害防止のため、周辺の
生産者や住民、養蜂業者に事前に防除計画を通知するなどの対策をとりましょう。
- 農薬の使用後は防除日誌や作業日誌等の記帳に努めましょう。
- 水田で湛水して農薬を散布する場合は、処理後７日間の止水を厳守し、落水しないようにしま
しょう。

新潟県病虫害防除所業務課

電 話：0258-35-0867

F A X：0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

【参考】北陸地方 1か月予報（3月29日から4月28日までの天候見通し）

（新潟地方気象台：令和7年3月27日発表）

＜予想される向こう1か月の天候＞

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- ・低気圧や前線の影響を受けにくい時期があるため、向こう1か月の降水量は、平年並か少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、

1週目は、高い確率20%です。

2週目は、高い確率70%です

3～4週目は、高い確率50%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気 温	20	30	50
降 水 量	40	40	20
日照時間	30	40	30

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

	低い	平年並	高い
1週目 （3月29日～ 4月 4日）	30	50	20
2週目 （4月 5日～ 4月11日）	10	20	70
3～4週目（4月12日～ 4月25日）	20	30	50